

## 言語プログラム研究の読書会へのお誘い

2004年11月16日

桜美林大学 松下達彦

拝啓

秋冷の候、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

私は日本語教育に携わりながら、日々の雑務になかなか授業の準備も研究も進まない毎日を過ごしておりますが、その雑務もプログラム運営の大切な一環だと信じて、取り組んでおります。

ところで、このような言語プログラム運営は、例えば以下のような点で学習効果に多大な影響を及ぼすと思われませんが、少なくとも日本語教育の世界においては、十分に研究がされておらず、理論的基盤も確立しているとはいえない状況です。

- ① 学習者のニーズをプログラム全体として大きく捉え、現実の学習条件・学習環境に不足の点（コース編成・教室外環境）をどう把握するか。
- ② ①を踏まえた上で、プログラム全体のシラバスをどうコースに分配し、コース間の有機的関連を持たせるか。
- ③ ①を踏まえた上で、教室外環境（ひと・もの・組織等）をどう整備していくか
- ④ 各コース、担当教員等を決定する要因には何があり、その要因間の関係はどうあるべきか。
- ⑤ 担当教員間、関係者間の連携をどのように作り上げていくか。特に立場の相違による力関係やリソースの不均衡、学習や教育に関するビリーフの相違についてどう考え、どう対処して協力的な関係を築くか。
- ⑥ プログラムのイノベーションは、どのような要因により、どのような過程を経て実行され、どのように評価されるべきか。

まだ、ほかにもあろうかと思いますが、実はこれらの問題は英語教育の世界では、**ELT management** などの名称で、分野としてある程度の研究の蓄積があるようです。そこで、東京大学工学系研究科国際交流室の山崎佳子先生と話し合い、ささやかながら、読書会を立ち上げようということになりました。恥ずかしながら、私などは一人で英書を読もうとするとすぐに挫折してしまうのですが、今度は皆様のお力も借りながら、自らを叱咤激励して先行研究の吸収に取り組もうと考えている所存です。つきましては、別紙の要領で読書会の開催を計画致しましたので、ご関心をお持ちの方は、ぜひご参集くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

## 言語プログラム研究の読書会 開催要領

言語プログラム研究の読書会を以下の要領で開催いたします。ご関心がおありでしたら、ぜひご参集ください。

発起人 松下達彦（桜美林大学）  
山崎佳子（東京大学）

### 記

日時： 月に1回程度、金曜日の午後 4:00～5:30

第1回は 11月26日（金）、第2回は12月17日（金）の予定です。

場所： 桜美林大学新宿キャンパス（新宿駅南口徒歩2分、久保ビル4階）

<http://www.obirin.ac.jp/001/032.html> をご参照ください。

内容： 現在、候補として考えているのは、以下の数点です。

Ornstein A. C. & Hunkins F. P., 2004, *Curriculum: Foundations, Principles and Issues*, 4<sup>th</sup> Edition, Boston: Pearson Education

Richards, J. C., 2001, *Curriculum Development in Language Teaching*, Cambridge University Press

Kennedy C. (Ed.), 1999, *Innovation and Best Practice*, The British Council

Lynch, B. K., 1996, *Language Program Evaluation*, Cambridge University Press

Brown, J. D., 1995, *The Elements of Language Curriculum*, Heinle & Heinle Publishers

White, R. V., 1988, *The ELT Curriculum*, Blackwell

ほか論文数点

第1回目の当日までに、提案をまとめますが、テキストの選定、分担などの詳細は参集したメンバーで決め、第2回目から読み進めていく計画です。

内容を消化しながら、参加者それぞれの現場のコンテクストに引き付けて議論し、情報交換も兼ねた読書会ができればと願っております。プログラムの運営・評価・改編などに関心をお持ちの方のご参加をお待ち申し上げます。少人数のこじんまりした（少数精鋭の？）読書会ができればと考えております。

飛び入りも歓迎しますが、会場設定その他の都合もございますので、参加ご予約の方は [tatsu@obirin.ac.jp](mailto:tatsu@obirin.ac.jp)（松下）までご一報くださいますよう、お願い申し上げます。

以上